

あいつばんげ

11 平成13年
No. 436



走快！ 風を感じて 第17回安兵衛マラソン大会

安兵衛マラソン大会



■11月の主な記事	〈ページ〉
特集 市町村合併	2~3
五浪美術記念館開館	4
第17回安兵衛マラソン大会	6~7
第17回健康まつり	8~9
第44回産業文化祭	10~11

URL <http://www.town.aizubange.fukushima.jp/>

今から考えよう！市町村合併のこと



今、地方分権が実行段階に入り、町民みなさんと最も身近な行政主体である町の役割はますます重要となってきました。

しかし、どの市町村の行財政基盤を強化し、住民負担を抑制しつつ新たな行政需要に対応しなければならないなど、さまざまな解決すべき課題に直面しています。

これらの課題の解決には、これまで以上に広域的な連携が必要となっています。

地域の行政のあり方は地域で決定することが大切です。自分たちの町がどんな広域の連携をすべきかは各市町村（地域）において自主的、主体的に検討することが必要です。

自分の町をもう一度見直し、その将来をどのようにするのかを一人ひとりがみんなのために考えてみましょう。

町では今月号から6ヶ月にわたり、市町村合併を含めた広域行政についての情報や具体例などを掲載していきます。また、町のホームページ（みんなの広場）や町民の声の便りでみなさんの感じている疑問や意見をいただきたいと思っておりますので、多くの方の投書を待っています。

第一回目はどうして広域行政が必要なのかをお知らせします。

① 住民の日常生活圏の拡大

交通基盤の整備、情報・通信手段の発達などにより住民の日常生活圏は市町村の区域を超えて拡大していきます。

こうした中で、行政サービスの広域的提供や行政サービスの受益と負担の関係の適正化、土地利用や都市計画などのまちづくりの広域的、一体的展開などが求められています。

② 地方分権の進展

地方分権が実行段階に入り、国と地方との上下・主従の関係から対等・協力の関係に変わり、これまで県の事務であったものの一部が市町村の事務となったり、国が市町村の事務を拘束していた様々な通達が廃止され、市町村が自らの判断で事務・事業を執行できる範囲が広がりました。

市町村は、職員がそれぞれの事務を専門的に行える体制を整えて職員の職務能力を向上させ、多様化する住民ニーズに自らの判断と責任で適確に応えることが求められています。

③ 少子高齢化の進行

女性一人が一生に平均何人の子供を産むかを表す数値である合計特殊出生率は、本県では平成11年に1.63人まで低下し、全国平均よりは高いものの、人口を維持するのに必要な水準を下回っており、人口の増加はあまり期待できません。一方、高齢化は全国を上回るペースで進むと見込まれます。人口減少と高齢化が進み、地域社会の担い手たる人々が減少する中で、住民負担の増加を抑制しながら、行政サービスを維持し、さらに向上するための取組みが求められています。

④ 新たな行政需要の発生

国民の価値観、生活様式の多様化等、新たな時代潮流の中で、男女共同参画社会の形成、情報化、環境保全対策等新たな行政需要が生じてきています。

市町村は、専任の職員を配置するとともに、専門的な知識・技能を備えた職員を確保し、こうした行政需要に的確かつ効率的に対応することが求められています。

⑤ 厳しい財政状況

国及び地方の借入金残高は、平成13年度末に666兆円、そのうち地方の借入金残高は188兆円と膨大な額に上る見込みです。県内市町村の行政指標も全体的には悪化してきています。

市町村が自らの判断で主体的に行政サービスを提供し、まちづくりなどを行っていくためには、それぞれの市町村において行政の効率化を図りながら、行財政基盤を強化することが求められます。

以上のことから広域行政が必要となってきました。



名誉町民 小林五浪先生 五浪美術記念館開館

十一月十日（土）、名誉町民で日本画家小林五浪先生の作品を紹介する五浪美術記念館のオープニングセレモニーが同記念館で行われました。

セレモニーには、小林五浪先生をはじめ親族の皆さんや来賓各位など関係者約百五十名が出席され、同記念館の開館を祝いました。竹内町長が「先生の故郷である会津坂下町に美術記念

館を開館することができ、喜びに堪えません」と祝辞を述べられました。その後、長男の朝彦氏が「父の夢が叶いました。今後はこの記念館を若い世代にも活用して頂き、ふるさと会津坂下町から一人でも多くの画家が巣立っていく

れば幸いです」とあいさつ。テープカットを行い、セレモニーを終りました。
五浪先生は大正十四年、金上生まれ。金上尋常高小、東京文化学院美術科を卒業後、坂下一中、高田一中、若松一中などで教員を務めた後、鶴見大で指導に当たりました。
昭和二十六年には県総合美術展最高賞の知事賞を受賞。昭和三十三年に日本美術院初出品で入選され、以降日本美術院展奨励賞など

農林水産大臣感謝状受賞

玉川 敏明 さん（勝方）

このたび統計の日を記念して、農林水産統計情報業務に永年にわたりご協力いただいた玉川敏明さん（勝方）に農林水産大臣から感謝状が贈呈されました。

玉川さんは、農林水産省が実施している農業経営調査農家として5年間に渡り記帳され、その功績が認められて今回の受賞となりました。

この調査は、個別農家の経営実態を把握することにより、農業経営の変化を明らかにするもので、農業行政の基礎資料とするため行われています。玉川さんは、この調査を1日も欠かすことなく5年に渡り記帳されたもので、その間の御労苦は計り知れないものがあります。

おめでとうございます。



を受賞されております。昭和五十六年に紺綬褒章を受章され、町の名誉町民に推挙されました。記念館は木造二階建約百四十平方mで、一階には展示スペースと収蔵庫、多目的スペース、吹き抜けの二階も展示スペースとなっております。
なお、記念館は翌十一日から一般に公開され、大勢の入場者で賑わっていました。
今後、町では「多くの芸術家にスペースを活用してもらい、芸術文化の振興を図りたい」という先生の思いに応えるべく、この記念館を活用して参りたいと考えております。



▲吹き抜けの二階展示スペース



英国文化 肌で感じて

十月二十五日、会津坂下町国際交流協会の海外派遣事業「グローバルスタディ21」に参加した中学生たちの報告会が、中央公民館で開催されました。

報告会には、英国のバンゲイ町に派遣された中学生二十名を含む約五十名が出席。国際交流協会の広田陽太郎副会長があいさつをした後、英国での活動の様子を記録したビデオが放映されました。ビデオを見た生徒たちは、なつかしげに当時のことを思い出していました。

その後、団長の高久教育長から生徒たちの活動ぶりが報告されました。生徒らは、英国での活動と同じ四班に分かれ、「ホームステイについて」、「ノーリッジ・ケンブリッジ研修について」、「ケンブリッジグループワークについて」と題して団員報告を行いました。

報告書も作成され、参加した生徒たちは「英国文化に触れることができ、貴重な体験をした」「これからもっと英語を勉強したい」「言葉が通じなくても、心が通い合うことを実感した」など感想を記していました。そして、一番多かった感想がホストファミリーとの別れを惜しむ

声でした。

参加された生徒の皆さんにはこの貴重な体験を今後になかしく、健やかに成長されますことを願うばかりです。



▲イギリスでの活動を報告する団員

一年ぶりの帰郷

報告書の中から、今回の事業に事務局（随行員）として参加された、英語指導助手のビクトリア・アレンさんの報告を掲載いたします。



事務局
ビクトリア・アレンさん

私は、何ヶ月も前からこの研修旅行を楽しみにしていました。それは、友達や家族に会えるだけでなく、会津坂下町の生徒達にイギリスや私のホームタウンであるバンゲイ町を見せてあげられる機会を与えてもらったからです。

私たちは、七月十五日にロンドンに着きました。ロンドンは典型的なイギリスの夏の気候でした。みんなはすぐに日本の夏と全く違う事に気付きました。私でさえ、会津坂下町に住んでみてイギリスの夏は寒い事がわかりました。私たちはすぐにノーリッジ市へ行きました。私はノーリッジの大学を卒業したので、この街はよく知っています。ノーリッジのジャパンフェスティバルに参加し、とても楽しかった

です。会場で私達は、日本の伝統的な踊り（かんしょ踊り）を披露しました。生徒達はカラフルな浴衣を着て踊り、ノーリッジ市長をはじめ、イギリスの観光客を魅了しました。次の日イギリス在住の長谷川さんの所へ行き、昼食にカレーライスをご馳走になりました。長谷川さんはとても親切にノーリッジでの旅行案内や昼食の準備をしてくれました。

次の滞在は、生徒達がグループワークをしたケンブリッジでした。私は生徒達がケンブリッジ大学の美しい建築物を見て楽しんでくれる事を期待しました。ケンブリッジの後はバンゲイ町を訪ねる時間でした。私は一年振りに両親に会うのでワクワクしていました。バンゲイ町の役場に到着して、生徒達は町長とホストファミリーに会いました。生徒達はホストファミリーと各家庭に出発する前に、英語で上手に自己紹介をしたのでうれしかったです。次の日バンゲイ町を見て回った時に、私達は会津坂下町の生徒達が描いた「雪国の絵」を見ました。それはバンゲイ町の図書館に展示しており、私は司書の方から図書館を訪れた人々からとても賞賛されたと聞きました。

次の日は私の母校であるミッド

ルスクールを訪問しました。会津坂下町の生徒とバンゲイ町の生徒が情報交換をし合い、帰り際にはあわただしくお互いのEメールアドレスや家の住所を教えあっているのは、素晴らしいです。夕方には学校でディスコが催され、私達はバンゲイ町の生徒達に新しいダンスを教えてもらいました。私達は七月二十二日に別れの悲しみと共にバンゲイ町を離れました。私はみんながこのホームステイの経験を楽しんでくれたと期待しています。ホストファミリーの皆さんは出発の時に、私達の訪問をどれほど楽しんだか私に話してくれました。

ロンドンのツアーではバックingham宮殿を含むロンドンブリッジ、ビッグベンなどを見て回りました。次の日は帰国する日でした。幸運にも私は休暇でイギリスに残る事が出来たので、ロンドンのホテルでみんなにさようならを言いました。そしてEメールでみんなが無事に会津坂下町に戻った事を聞きました。私は生徒達と共にイギリスへの研修旅行を十分に楽しめました。そして、バンゲイ町と皆さんのいい思い出を作りました。私は生徒達がとてもいい経験をして、いつの日か再びイギリスを訪ねてくれる事を期待します。

新そばに舌鼓打つ

「ばんげ いにしえ街道 新そば祭り」

会津坂下町の新そば祭りが十月二十七日、二十八日、十一月十日、十一日の四日間に渡り、農村環境改善センターにおいて開催されました。町観光協会の主催で毎年開催しているそば祭り、昨年までの「歴史とロマンの里新そば祭り」を「ばんげ いにしえ街道 新そば祭り」と改め、開催日も四日間に拡大しての開催となりました。

一、五〇〇円のチケットを購入すれば、挽きたて、打ちたて、茹でたての新そばが食べ放題とあって、初日は約三〇〇名、二日目は約三三〇名、三日目は四二〇名、四日目は約四五〇名、合計約一、五〇〇名の親子連れなどが町内外から訪れました。

温かいそばや、冷たい大根おろしの高遠そばなど、来場者は自分の好みで新そばの香りやのどごしを楽しんでいました。会場内では、手打ちそばの実演コーナーや、生そばや馬刺し、味噌しょうゆなどの物産なども販売され、多くの人たちが買い求めていました。

隣接する糸桜里の湯ばんげでは、チケットの半券を持参すると割引で入場できるとあって、新そばを満喫された方がゆっくりと湯につかって日頃の疲れをいやしていました。

ご協力いただいた各種団体の



皆さんに、心より感謝を申し上げます。

第17回安兵衛マラソン大会 - 14部門に362名が力走 -

十月二十一日(日)、第十七回安兵衛マラソン大会が、ばんげひがし公園鶴沼球場をスタート・ゴールとして開催されました。

この大会は、当町出身の赤穂浪士「堀部安兵衛」にちなんで始まった大会で、県外参加者五名を含む三六二名が十四部門にエントリーし、秋風を肌で感じながら健脚を競いました。

最月少は五歳の佐藤翔くん(長井)、最高齢は六十五歳の鈴木久喜さん(船津)。ふくしま駅伝の登録選手が顔を揃えたハイレベルな部門あり、小学二年以下の子供と親と一緒に走る親子競走(二キロ)では、子供のペースに必死でついていく父母の姿が見られました。

また、前いわき市長で参議院議員の岩城光英さんも参加するなど、年齢・男女別に分かれた各部門で力走が見られました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。成績は次のとおりです。

1部 小学3・4年男子 (2 km)

- 1 関本 健 若宮小
- 2 板橋 直樹 三島小
- 3 小畑 大地 片門小
- 4 五十嵐尚哉 広瀬小
- 5 成田 功 坂下小
- 6 佐藤 貴大 広瀬小
- 7 白井 晴樹 坂下小
- 8 鈴木 博翔 若宮小
- 9 蓮沼 了 八幡小
- 10 大竹 将平 坂下小
空手道スポ少

2部 小学5・6年女子 (2 km)

- 1 五十嵐愛美 若宮小
- 2 武藤 愛莉 翁島小
- 3 金 真実 坂下小
- 4 芥川 玲美 広瀬小
- 5 新井田知佳 八幡小
- 6 新井田幸枝 若宮小
- 7 黒澤 成美 若宮小

3部 小学3・4年女子 (2 km)

- 1 井上 久李 坂下小
- 2 斎藤 真弓 川西小
- 3 佐藤 未来 坂下小
- 4 黒澤 麻弥 若宮小
- 5 大島 瑤子 慶徳小
- 6 大竹 佑佳 坂下小
- 7 鈴木 奈央 旭小
- 8 須佐 恵 坂下小
- 9 武藤 美侑 翁島小
- 10 斎藤 和 八幡小

4部 親子競走 (2 km)

- 1 五十嵐孝男・壮司 会津高田町
- 2 山口雅之・貴也 窪
- 3 芥川和久・晃大 青津
- 4 佐藤春幸・綾乃 矢ノ目

5部 小学5・6年男子 (3 km)

- 1 棚木 大貴 若宮小
- 2 高久 芳裕 坂下サッカー
- 3 田部 広大 片門小
- 4 三橋 公義 広瀬小
- 5 遠藤 悠輔 坂下サッカー
- 6 渡部 雅憲 坂下小
- 7 前田 格裕 川西小
- 8 二瓶 泰然 律心館/剣道
- 9 宇内 大典 川西小
- 10 斎藤 宏明 川西小



▼さながら戦場と化した厨房



大盛況の会場内



▲そば実演コーナー
名人の手さばきに思わず見入ってしまいます

休む間もなく打ち続ける名人達



風を感じて 健脚競う

- 2 本多 輝雄
二本松四〇会
- 1 遠藤 和栄
ふくしま駅伝会津坂下

9部 壮年年男子
(40歳以上10km)

- 8 五十嵐力男
- 7 大堀 利文
エクふあい
- 6 白井 和男
両沼厚生会
- 5 塚原 和憲
熱塩加納村駅伝クラブ
- 4 樋 信吾
"
- 3 佐々木貴彦
ふくしま駅伝会津坂下
- 2 東海林剛史
喜多方陸協
- 1 永山 義信
ふくしま駅伝会津坂下

8部 一般男子
(39歳以下10km)

- 2 川村 慎吾
"
- 1 白岩 佑輔
会農高

7部 高校生男子
(10km)

- 6 瓜生 麻記
"
- 5 遠藤万里奈
"
- 4 横山 望
"
- 3 大竹 園美
"
- 2 山口 佳純
"
- 1 三浦 彩
熱塩加納村駅伝クラブ

6部 中学生女子
(3km)

- 10 杉山 祐二
"
- 9 唐橋 安弘
"
- 8 角田 昭
"
- 7 遠藤 博行
"
- 6 伊藤 浩
"
- 5 二宮 政弘
パパちゃんズ
- 4 高橋 宏典
北塩原村役場
- 3 吉田 直哉
寿楽デイ健走会
- 2 江花 秀一
坂下走友会
- 1 佐々木一哉
寿楽デイ健走会

11部 一般男子
(39歳以下5km)

- 4 吉田 文字
二本松二人会
- 3 菊地恵美子
二本松二人会
- 2 生江 宏美
会津坂下
- 1 二瓶 恵子
坂高一年

10部 一般女子
(高校生含む5km)

- 5 安藤 信之
会津坂下町役場
- 4 渋谷 和良
親子で走ろう会
- 3 岩城 光英
ミッション元気倶楽部



- 9 古田 新作
"
- 8 菊地 明雄
二本松二人会
- 7 佐々木勝彦
広瀬走友会
- 6 高橋 定雄
福島市
- 5 加藤 紘一
坂下小
- 4 松浦 健二
郡山北工定時制
- 3 佐藤 信芳
カサマRC
- 2 山村 陽一
米沢スポーツブラザ
- 1 桑原 雅久
矢板マラソンクラブ

14部 壮年男子
(50歳以上5km)

- 8 古川三智也
寿楽デイ健走会
- 7 唐司 和彦
広瀬小O・B
- 6 秋山 銀寿
"
- 5 牧野 保治
"
- 4 大堀 和仁
若宮クラブ
- 3 斎藤 春生
東邦銀行
- 2 渡部 新一
アカクラブ
- 1 北島 義喜
坂下走友会

13部 壮年男子
(40歳以上5km)

- 2 今井 将也
"
- 1 蓮沼 竜
坂下二中

12部 中学生男子
(5km)

平成13年度 健康と福祉の祭典 第17回健康まつり



すこやか

大盛況

去る十月八日に第十七回健康まつりが開催され、天気にも恵まれ、晴天のなか大勢の人の出でにぎわいました。

町中央・坂下公民館では、午前十時から健康に関する各種の表彰式が行われ、表彰される人やその家族がかけつけました。午後一時二十分からは、ケーシー高峰さんによる特別講演が行われ、多くの方々が熱心に耳を傾けました。

また、健康管理センターでは様々な催しがあり、中でも医療健康相談や体力測定コーナー、子供にはストラックアウトなどが人気があり、町民の方々の健康に対する意識の高さを感じました。



ケーシー高峰さんの特別講演
ーケーシーの健康教室ー

受賞おめでとうございます

よい歯の子

ばんげ保育所

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 伊藤 | 伊藤 | 佐藤 | 松崎 | 高久 | 長澤 | 田中 | 荒井 | 赤城 | 宮本 | 宮本 | 星謙 | 大平 | 佐藤 | 蓮沼 | 星沼 | 薄 | |
| 藤 | 藤 | 藤 | 崎 | 久 | 澤 | 中 | 井 | 城 | 本 | 本 | 竹 | 藤 | 敦 | 優 | 志 | 統 | 頭 |
| 勇 | 慎 | 千 | 垂 | 奈 | 若 | は | 駿 | 拓 | 侑 | 拓 | 謙 | 凌 | 優 | 志 | 統 | 太郎 | 太郎 |
| 太 | 也 | 紗 | 梨 | 々 | 々 | 奈 | 矢 | 未 | 馬 | 馬 | 成 | 平 | 優 | 志 | 統 | 太郎 | 太郎 |
| 星 | 笠 | 千 | 中 | 大 | 宮 | 伊 | 伊 | 片 | 金 | 中 | 増 | 武 | 矢 | 佐 | 渡 | 角 | 田 |
| 間 | 代 | 丸 | 竹 | 本 | 藤 | 藤 | 山 | 子 | 島 | 田 | 藤 | 澤 | 竹 | 部 | 部 | 田 | 一 |
| 明日 | 奈 | 安 | 彩 | 佳 | 亮 | 将 | 祐 | 摩 | 菜 | 悠 | 美 | 未 | 源 | 太 | 嵩 | 一 | 麻 |
| 香 | 美 | 里 | 葉 | 香 | 奈 | 太 | 郎 | 耶 | 優 | 乃 | 沙 | 来 | 太 | 郎 | 大 | 大 | 大 |

坂下幼稚園

- | | | |
|----|----|----|
| 佐渡 | 高薄 | 平 |
| 藤部 | 原野 | |
| 真孝 | 秋健 | 華 |
| 和哉 | 月朗 | 菜 |
| 上白 | 片田 | 鈴 |
| 野井 | 岡辺 | 木 |
| 真侑 | 美愛 | 美 |
| 子隼 | 隼咲 | 巧美 |

若宮幼稚園

- | | |
|----|-----|
| 山宮 | 丸田 |
| 内田 | 山崎 |
| 愛 | 直元 |
| 菜 | ち幸 |
| | さと太 |
| 佐北 | 新 |
| 藤村 | 國 |
| 弥美 | 真 |
| 奈樹 | 奈 |

片門幼稚園

- | |
|-----|
| 小久保 |
| 太智 |
| 高梨 |
| 純平 |

八幡幼稚園

- | |
|----|
| 幅桑 |
| 野原 |
| 樹侑 |
| 里 |
| 遠海 |
| 藤老 |
| 秀 |
| 拳宜 |

川西幼稚園

- | | | |
|----|----|----|
| 永山 | 永山 | 林出 |
| 山恵 | 山広 | 山俊 |
| 新 | 新 | 洋 |
| | | 古 |
| | | 川 |
| | | 千 |
| | | 秋 |
| | | 希 |

広瀬幼稚園

- | | | |
|----|----|----|
| 藤仙 | 佐藤 | 小池 |
| 田波 | 未倅 | 公治 |
| 希望 | 來太 | 堀 |
| | | 五十 |
| | | 内 |
| | | 風 |
| | | 沙 |
| | | 陽 |
| | | 菜 |
| | | 子 |
| | | 海 |
| | | 介 |
| | | 佑 |

金上幼稚園

- | |
|----|
| 青木 |
| 麻里 |
| 奈 |



国保だより

健康づくり啓発

ポスターの部

坂下小学校

〈入賞〉

渡部 聡美 鈴木 聖也
岡本 敬之 藤巻 幸子
佐藤 未来 内川 愛美
新井 佑香 渡部 雅憲
國分 詩織

〈佳作〉

阿部 智皓 風間 永隼
國分 美咲 田中 英恵
荒井 侑香 大竹 彩加
佐藤 智美 小瀧 和人
玉木 佑典 三澤 龍太
長野 功

若宮小学校

〈入賞〉

鈴木 穂奈美 遠藤 優花
青木 綾奈 中島 美穂

〈佳作〉

宮田 正大 田崎 友美
武藤 真理恵 鈴木 裕恵
渡部 亜沙美 薄正美

金上小学校

〈入賞〉

渡部 歌内 佐藤 裕滯
目黒 悠輔 石田 裕

〈佳作〉

佐藤 希 佐藤 楠
國井 優衣 國井 佑史

広瀬小学校

〈入賞〉

生江 剛裕 山ノ内 健太郎
生江 俊樹 佐藤 玲奈

〈佳作〉

石田 夏子 成田 悠香
佐藤 もえみ 慶徳 賢人
齋藤 祥太 齋藤 佳隆

川西小学校

〈入賞〉

関口 元彬 齋藤 洸
齋藤 正樹 小柳 愛寿茄

〈佳作〉

青山 祐大 関口 元紹
齋藤 かな 齋藤 宏明
齋藤 歩実

健康づくり啓発

習字の部

第一中学校

〈入賞〉

赤井 浩美 岩淵 祥子
大庭 麻美 鈴木 幸子
平野 大地 三橋 諒子
慶徳 由美 大崎 亜実
二瓶 麻子 大崎 聡子

〈佳作〉

諏訪 まさ美 坂内 由里華
佐藤 浩悟 齋藤 由紀
二瓶 浩明 齋藤 由紀
藤田 恵実

第二中学校

〈入賞〉

赤城 恵 長谷川 裕哉
板橋 絵美 物江 菜摘
武藤 亜侑美

〈佳作〉

佐藤 由紀 佐藤 真智子
齋藤 佳奈子 小林 夏季
真嶋 祐子 長谷川 怜史

献血功労者

献血30回以上

菅 トヨ子 猪俣 勇一
田崎 峰子 大島 秀一
石川 浩

優良保健行政区

大上区 桜木町自治会
金沢区 御池田区
本町自治会

歯っぴいライフ

8020認定者

名倉 ハルコ 荒井 ハツエ
岩城 ハツイ 金川 輝子
稲村 ヤス子 目黒 ロク



第44回 産業文化祭

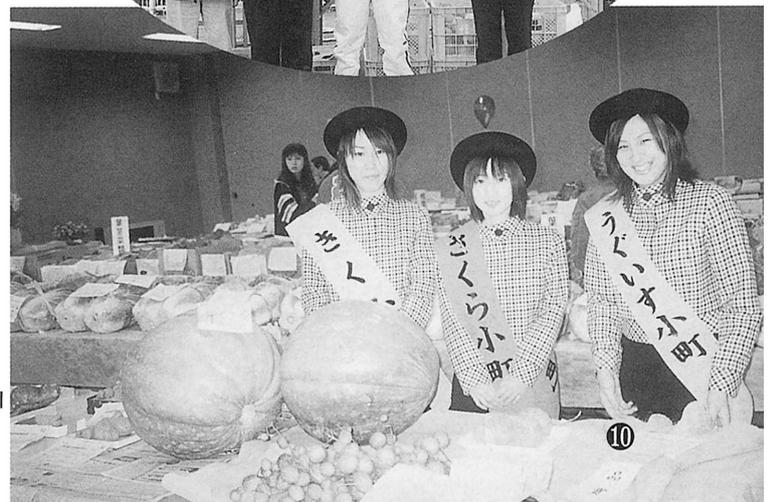


第四十四回を迎えた産業文化祭は、三日（文化の日）を中心に行われました。会場となった中央・坂下公民館、健康管理センターは、恒例のお母さん食堂、農林産物品評会に大勢の人が集まりました。

各コーナーでは、リンゴ試食即売、不用品即売、盆栽等展示会、老人作品展などすばらしいものがありました。また、町民体育館では第十九回藤園書道展と保育所、幼稚園、小・中学校の絵画展も催されました。

農林産物品評会受賞者

福島県知事賞	柿	渡部寿美子	杉
会津坂下町長賞	玄米	小久保善一	天屋
	ゴボウ	芳賀洋一	立川
会津坂下町議会議長賞	人参	吉田サダ子	立川
会津みどり農業協同組合長賞	ストック	板橋幸彦	羽林
会津坂下町農業改良推進員会長賞	白菜	佐藤恵美子	袋原
福島民報社賞	大豆	宮下進	新館
福島民友新聞社賞	りんご	古川スエ子	洲走





赤い羽根共同募金

11月3日の文化の日、青少年ボランティア活動の一環として、中・高校生による共同募金運動が行われました。

皆様、ご協力ありがとうございました。



老人作品展受賞者

〈金賞〉

賞 内 容	所 属	受賞者名
会津坂下町長賞	陶芸クラブ	久保智恵子
会津坂下町議会議長賞	老人クラブ	山内 緑
日本赤十字社福島県支部長賞	手芸クラブ	大崎由紀子
会津坂下町社会福祉協議会長賞	七宝焼クラブ	笠井キヨ子
福島県老人クラブ連合会長賞	老人クラブ	高久ムツ子
会津坂下町老人クラブ連合会長賞	老人クラブ	山口 ナカ

菊花展受賞者

五鉢花壇の部

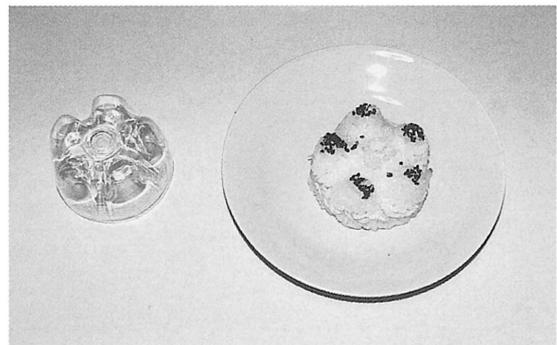
最 優 秀 賞	五十嵐吉清
優 秀 賞	鈴木 芳朗
銀 賞	平野岩太郎

三本盆栽の部

会津坂下町長賞	五十嵐吉清
会津坂下町議会議長賞	鈴木 芳朗
町産業建設委員長賞	蓮沼千代作
J A 会津みどり賞	平野岩太郎
会津坂下町商工会長賞	松本 康
福島民報社賞	平野岩太郎

米消費拡大コーナー

健康管理センターにおいて、新米試食会として、来場者に参加していただき、新米を食していただきました。思い思いに、おにぎり、押し寿司を自分で作って食べてもらいました。小学生は、自分で作ることが楽しい様子で、中でも、ペットボトルの底の凹凸を利用して形ぬきしたごはん作りに、大勢挑戦していました。



ペットボトルの底から4cmぐらいの所を切りぬきます。ごはんを詰める前に、ラップを敷いておくときれいにできあがります。



まちづくり委員会各部会活動報告

くづくり部会活動記録

第5回学習会 平成13年10月16日開催

検討テーマ：地域総合型クラブ設立について学校、各団体の代表者への趣旨説明及び各分野での問題点や考え方について

検討内容：①中学校では生徒の減少により生徒のニーズにこたえられない状況で中体連も運営方法を検討している

②既存の組織をどうするのか、また専門的な組織にすれば職員の配置も必要

③総合型地域クラブについて広くPRしていく必要がある

④設立にはスポーツする場所と時間と人の支援が必要、資金面では、会費のみでの運営は難しい

⑤色々な形態・年齢をつなぐネットワークや補完する組織が必要である
検討結果：広報・お知らせ版及びインターネットによる部員募集及び設立案内や意見を広く求め、講演会やフォーラムの開催等による意識の高揚を図っていく

文化部門についてもPR・実施方法を検討する

次回テーマ：あいさつ運動の具体的な取組みについて

今年5月に発足したまちづくり委員会は5つの部会で編成されております。各部会とも、様々な活動をするための検討をしてきました。今回は、各部会の最新の活動記録をご紹介します。

しくみづくり部会サポートセンター設置検討班活動記録

第4回学習会 平成13年10月1日開催

検討テーマ：空き店舗等を利用したサポートセンターの設場所について

検討内容：①役場産業振興課にぎわいのまち推進班が実施した、商店街の実態調査に基づく空き店舗等の状況について

②アンケートの結果について

検討結果：①実態調査の状況は現在4軒が賃貸店舗として利用してもよいとしているが、サポートセンター設置条件としては、利便性を考慮しライヴァン通り、情報発信拠点施設として考える場合は光回線等情報インフラが整備されている所を考えていく

②アンケートの結果については

依頼団体数88、回答70、回答率79%

内容はホームページへ掲載する

次回テーマ：空き店舗について、住民参加の方法について、全体会議での問題について

暮らしづくり部会活動記録

第5回学習会 平成13年10月10日開催

検討テーマ：金銀交流事業アンケート内容について

現在までの内容の整理

検討内容：①アンケートでの調査内容の確認

暮らし方(家族構成)、子供とどれくらい関わっているか、自分でできることは何か又どんなことをしたいと思っているか

②今までの成果の確認

保育所はこの部会への参加を契機に委員会ができ、話し合いを持つとする動きがある

各団体を動かす契機をこの部会で進めることができれば理想ではないか
いまままで独立していた組織がお互いにコミュニケーションをとれるよう各対象年齢層参加を呼びかけていく必要がある

検討結果：調査結果に基づき事業を実施していく

次回テーマ：アンケート調査結果に基づき事業内容検討

しくみづくり部会まちづくり基本条例策定班活動記録

第4回学習会 平成13年9月25日開催

検討テーマ：まちづくり条例に係るワークショップの開催

検討内容：まちづくり委員会及びまちづくり2001委員会の委員によるまちづくり活動とおした条例内容について古坂下の猪俣孝之さんを講師に招き2班体制で、「ゴミの減量化について」をテーマにワークショップを開催

検討結果：ゴミの減量する取組みをとおして、①家庭からの取組み②行政が主体的に取り組むこと③企業が取り組むべきこと④協働のしくみにより取組める事項等に整理することにより、まちづくり基本条例の具体的な運用に役立てる

次回テーマ：まちづくり条例について

ふるさとづくり部会活動記録

第6回学習会 平成13年10月30日開催

活動内容：ケナフ刈取り作業

①中央公民館婦人学級「フレッシュママレード」、坂下小学校自然保護委員会合わせて約40名が参加し日本ケナフ会で指導員を務める柳津町の後藤倉重さんの手ほどきを受け約3mに成長したケナフの刈取りをし、たたいて皮をむき、こまかく裁断した

11月13日にはこのケナフを使い紙すきを行なう

次回テーマ：11月8日山形県長井市レインボープラン視察研修

農業部会活動記録

第2回学習会 平成13年10月17日開催

検討テーマ：農業について

検討内容：①大泉一貫氏の講演会の内容について検証

②今後の農業をとりまく状況について人口ピラミッドを参考に検討
農業後継者、新規農業従事者、農産物消費者の人口構成について

③地産地消の観点から新たなコミュニティを形成する取組みについて検討(エコマネー)

④第四次振興計画に位置付けられる農業についての再認識

検討結果：制度としてでなくしくみの中の農業としての位置付けや環境・景観等の観点を重視することと生産で完結しない農業サービスの視点が重要である

次回テーマ：家庭からの生ゴミの肥料再生、家畜し尿や野草等からの肥料づくり(農家と消費者が密接に関わる循環のしくみ)

まちづくり部会活動記録

第4回学習会 平成13年10月24日開催

検討テーマ：桜街道整備計画事業について

検討内容：桜街道整備計画に関する各部会員より企画書の内容について検討

①事業の目的、効果、計画、実施主体

実施における問題点について説明

検討結果：4案を検討した結果2パターンに大別されるため2案にまとめ次回再提案する

11月10日号お知らせ版にて新規部員(桜博士)の募集を行う

次回テーマ：桜街道整備計画の具体的な案について

7 糖尿病

我が国の糖尿病患者数は、急速に増加しています。

糖尿病は、ひとたび発症すると完全な回復は困難であるばかりでなく、放置すると重大な合併症を起こし、生活の質の低下を招きます。

目標は、糖尿病の予防の推進を図るため、生活習慣の改善・有病者の早期発見と治療の継続、合わせて、生活習慣の改善が有病者の減少に及ぼす影響について推計しました。

目標 糖尿病有病者の減少（推計）

（到達の目標）糖尿病有病者数

（現状）690万人 → （2010年）1,000万人

生活習慣の改善がない場合1,080万人と推計される



8 循環器病

循環器病は、我が国の主要な死亡原因の一つであり、後遺症のために生活の質の低下を招く原因になっています。

目標は、循環器病の一次予防の観点から、生活習慣の改善と循環器病者の早期発見について設定しました。また、生活習慣の改善が循環器病者の死亡の減少に及ぼす効果について推計しました。



目標 高脂血症の減少

（到達の目標）高脂血症の人の割合

血清総コレステロール値250ml/dl以上

男性（現状）10.5% → （2010年）5.2%以下

女性（現状）17.4% → （2010年）8.7%以下

9 がん

がんは、我が国最大の死亡原因であり、総死亡の約3割を占めています。

目標は、がんの一次予防の観点から、生活習慣の改善・がん検診の受診者等について設定しました。

目標 がん検診の受診者の増加

（到達の目標）検診受診者数

胃がん（現状）1,401万人 → （2010年）2,100万人以上

子宮がん（現状）1,241万人 → （2010年）1,860万人以上

以上「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」では、健康寿命の延伸に向け、2010年を目指して具体的な目標を提示しました。

町でも、地方版の策定を早い段階でできるように考えております。ご意見をお聞かせください。

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」が制定

お年寄りの住まいの不安をなくします。

高齢になると、階段やお風呂など家の中でけがをするのではないかと、賃貸住宅への入居を断られるのではないかと、といった住まいに関するさまざまな不安が生じてきます。そうした不安をなくし、高齢者が安心して生活できる居住空間をつくるため、「高齢者の安定確保に関する法律」が今年四月に制定されました。次のような三つの柱で、高齢者にやさしい住まいづくりが進められます。

バリアフリー化された高齢者向けの民間賃貸住宅の供給を促進

二〇〇〇年現在、高齢者がいる世帯は約千五百四十万世帯、これが二〇一五年には全世帯数の四割に当たる約二千三十万世帯となり、その半数以上が高齢者のみの世帯になると見込まれています。

高齢社会に対応し、高齢者が安心して生活できる住まいを確保するため、次のような制度によって、バリアフリー化された高齢者向けの民間賃貸住宅の供給を支援します。

民間事業者の取組を支援する

高齢者向け

優良賃貸住宅制度

バリアフリー化された高齢者向け優良賃貸住宅を建設したり、既存の住宅を高齢者向けの優良賃貸住宅とするためにバリアフリー・リフォームしたりする場合、国・地方公共団体からの補助や税制上の優遇措置（新規建設のみ）が受けられる制度。次のような補助が受けられます。

○住宅の共用部分（廊下、階段など）、バリアフリー設備などの整備費に対する補助

○低所得者の高齢者世帯に対し家賃減額を行った場合、その家賃減額費用に対する補助

○固定資産税の軽減や所得税・法人税の割増償却

既存住宅を購入し
優良賃貸住宅とするための

住宅金融公庫融資の特例

バリアフリー・リフォームを行い、高齢者向け優良賃貸住宅とする目的で、既存の住宅を購入する場合は、住宅金融公庫融資の特例により、その購入費の融資を受けられます。

高齢者の持ち家のバリアフリー化を推進

高齢者が生涯、住み慣れた自分の家で、できるだけ自立し、安全に暮らしていただけるよう、次のような融資制度で、高齢者の自宅のバリアフリー化を支援します。

フリー・リフォームする場合、ローンの返済を軽くする住宅金融公庫の特別の融資制度ができました。

この制度を利用すれば、最大五百万円までの融資を受けることができ、生存時は利子部分のみを返済し、死亡時に住宅資産などを活用して、ローンを一括償還することができます。

また、この融資制度には、高齢者居住支援センターが債務保証を実施します。

高齢者対象の
住宅金融公庫融資の特例

一括償還型バリアフリー リフォーム融資制度

高齢者自身が、自宅をバリア

高齢者が安心して入居できる 賃貸住宅市場を整備

民間賃貸住宅では、「家賃の払い」や「病気」「火災」などの不安から「高齢者入居不可」としているところが少なくありません。

この法律では、高齢者が円滑に入居し、安心して生活できる賃貸住宅市場を整備するために、次のような新たな制度が導入されました。

高齢者世帯へ入居を拒まない 賃貸住宅の 登録・閲覧制度

高齢者世帯の入居を拒まない賃貸住宅が、都道府県知事（またはその指定機関）に登録し、高齢者にその賃貸住宅情報を提供する体制が整備されます。

「高齢者向け優良賃貸住宅制度」の助成を受けた住宅は、必ずこれに登録することとなります。

また、登録された住宅には、

万一、入居した高齢者が家賃を滞納した場合、高齢者居住支援センターが家賃の債務保証（六か月を限度）を行います。

高齢者が安心して
住み続けることのできる

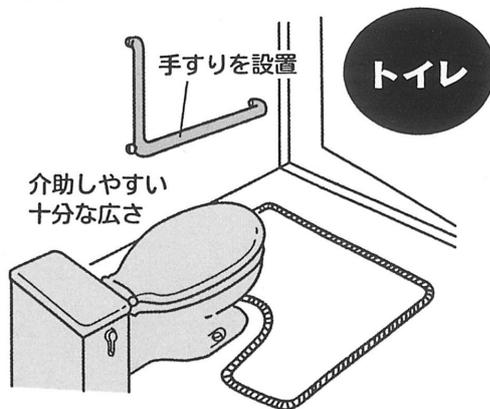
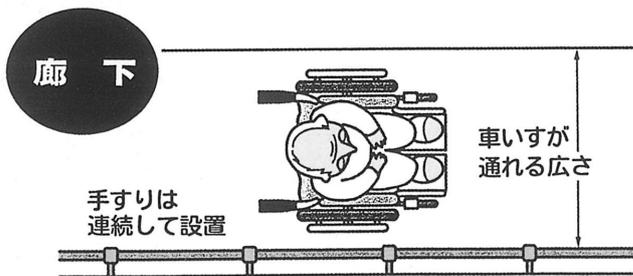
終身建物賃貸借制度

高齢者がバリアフリー化された賃貸住宅に終身にわたって安心して住み続けられるための仕組みとして、「終身建物賃貸借制度」が創設されます。これは、知事の認可を受けた賃貸住宅について、賃借人が生きている限り続き、死亡したときに終了する、借りた人本人の一代限りの借家契約です。

なお、配偶者など一定の同居者は、借家人死亡後も継続して居住できるように配慮されています。

高齢者にやさしいバリアフリー住宅

階段や部屋の入り口などに段差が多く、お風呂やトイレに手すりがなく、廊下などのつくりも狭い日本の住宅。若いころには不便がなかったこうした住宅も、高齢になり、身体能力が衰えてくると段差にまづいたり、転びやすくなったりするなど使い勝手が悪くなってきます。そのため、家の中での移動や入浴などの動作にも、周囲の人の手助けが要ることが多くなります。住宅のバリアフリー化によって、そうした不便が解消され、高齢者が自分で動きやすくなり、介護者も介護がしやすくなります。



第9回 いきいき下水道フェスティバル

大盛況

第9回を迎えた下水道まっりは、去る10月14日坂下西浄化センターにおいて開催され、好天に恵まれ参加者約600人という大勢の人でにぎわいました。

西浄化センターの施設見学や相談コーナー、微生物観察コーナーなどが設けられたほか、下水道クイズも行われ楽しみながら下水道に対する理解を深めていただきました。

また、とん汁や焼き鳥などの模擬店もお目見えし、来場者も無料で振る舞われたり、花のプレゼントやミニコンサートもあり、終日にぎわっていました。

▼終日にぎわいを見せた坂下西浄化センター



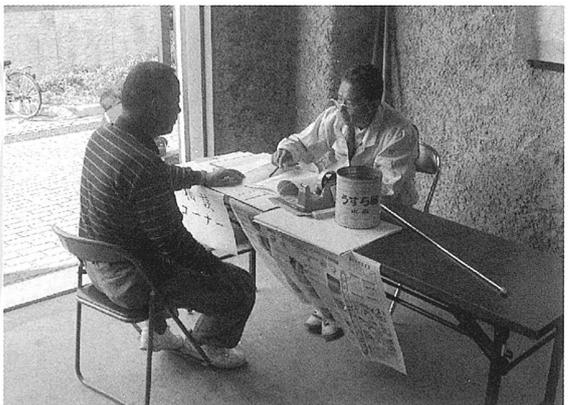
▶あいさつをする竹内町長



▶子供に人気の着ぐるみも登場



▶相談コーナーも開設されました



▶TVでおなじみの菊池章夫さんのミニコンサート



▶地元のバンド ビートマック



みんなの公園

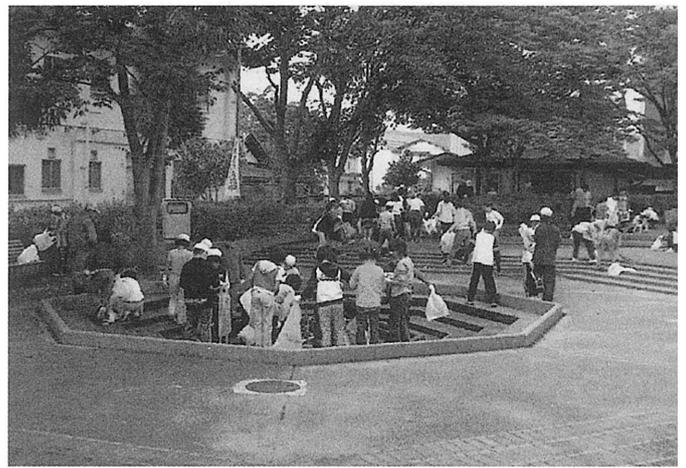
「きれいになっていい気持ち」

9月末、坂下小学校の児童の皆さんが地域奉仕活動を行いました。

そのうち、5年生は、坂下中央公園の清掃を地域の方々と一緒にいき、落ち葉掃きやゴミ拾い等一生懸命にやってくれました。

1時間ほどの作業の後、公園は見違えるようになりきれいになりました。

清掃に参加された児童の皆さんの感想を町にいただきましたので、一部を掲載させていただきます。



この間の奉仕活動で地域の方たちと中央公園をきれいにしとてもよい気分になり、いっしょにきれいにして下さった地域の方たちにかんしゃしています。また、奉仕活動で地域の人たちといっしょにいろいろの所をきれいにしていきたいと思います。こんかきかがあればいいと思います。

坂下小学校 五年一組 大竹 紗加

地域のみなさんへ
奉仕活動のときには大変お世話になりました。みなさんに親切に教えていただきおかげで、わたしも楽しく奉仕活動することができました。わたしもみなさんとやれて楽しかったです。
みなさんは、毎日奉仕活動されていると聞きました。ごとうさまです。
わたしは、奉仕活動が終わったときに公園がとてもきれいになっていたので、すこいと思いました。また機会があれば、みなさんとやりたいです。
五年一組 齋藤 智香子



交通事故防止を呼びかけました!! 坂下小・若宮小 鼓笛パレードでPR

(町交対協)

10月12日(金)、坂下小学校・若宮小学校児童約300名による鼓笛隊パレードが行われました。

パレードは、町交通対策協議会・各種団体も加わり坂下小学校グラウンドを出発し、ライヴァン通りを行進しながら、町民に事故ゼロで明るい町になるよう、力強い素晴らしい演奏でPRを行いました。

■ お詫びと訂正

広報10月号に誤りがありました。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

ページ	誤	正
9	(8)特別職の報酬等の状況 区分 給料月額等 給 町長 796,000 料 町長 640,000	区分 給料月額等 給 町長 796,000 料 助役 640,000
18	青東駅伝へ2人が出場 白鳳大3年 田代直希さん	白鷗大3年 田代直希さん



わが家のアイドル



踊りが大好きな英里奈ちゃんです

佐藤 英里奈 ちゃん (2歳2ヶ月)

見明・佐藤 淳明 夫妻の長女

わが家の長女英里奈は、お兄ちゃんとケンカをしてもやり返しをしてしまう、たくましくて気の強い女の子です。

そんな英里奈もお兄ちゃんが幼稚園に登園すると、さみしいのか後追いをします。あきらめてはいつも、教育テレビで「おかあさんといっしょ」や「いないばあ」を見て、まねして踊ったりしています。踊りが大好きで、「ママー、いくよ(見てよ)?」と喋って披露してくれる英里奈です。

(お母さん)

ふれあいリレー

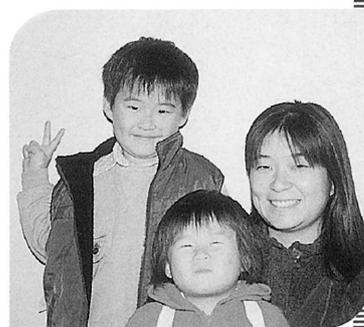
「あたたかさ」に触れて

この町に嫁いできて六年が経ちました。『会津』と言えば『雪』というイメージが強いのでしょうか。実家の方へ行くと、「会津は雪すごいべ？」と一年中間かれてしまいます。お嫁に来た頃は暖冬もあって、たいして雪で嫌な思いをすることがありませんでした。まだ、雪が降っても喜んでい

る余裕があったのです。小学生以来の長グツ。買うのも履くのも、てれくさい様な、でもウキウキする様な気分です。赤い色を選び、『会津の冬』を一年、一年過ごしてきました。寒いのは寒いけど、外に出た時に感じる空気

の冷たさが、キーンとしていてちょっとだけ気持ちよく感じていました。(そんな事を言っていると、皆さんに笑われてしまいました) そんな私がうちのめされたのが、昨年の大

雪。本当にびっくりでした。教科書やテレビで見ただけのことのない大雪の風景が、身近にあるではありませんか。同じ県内でも違うものかと言葉がありませんでした。雪かきも、慣れない手つきでがんばらせてもらいました。これがまた私には楽しい事の一つなんです。毎日続ければ、筋トレにもなってちょっとやせるかな?なんて甘い考えを持ちながら、少しでも家の人の力になればと今年もがんばります。そう、車を雪にはめないようにしなければならぬのも今年の課題です。そして、「会津はやっ



佐藤 理恵さん (緑町)

ぱり雪がすごいけど、とってもいい所だよ」と自慢してこようと思っています。 いいところは本当いろいろありますが、一番は皆さんのあたたかさ。仕事や、子供達の幼稚園・保育所を通して皆さんと出会えたことで、たくさんのことを学ばせて頂きました。友達もない知らない地へ来て、さびしく思ったこともありましたが。だからこそ、家族はもちろん、まわりにいてくださる皆さんのあたたかさが、何より私の支えとなっていました。こういう機会がなければ、皆さんにお礼を申し上げることができませんが、お父さん、お母さん、パパ、子供達、そして笑顔で支えてくださる皆さんの方々、本当にありがとうございます。 まだまだ未熟者で、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、どうぞこれからもよろしくお願ひします。また、これから知り合せて頂く多くの方、子供共々お世話になります。もう少し坂下の言葉を覚えて、しっかりとした坂下町民になっていこうと思います。



★ひまわり吟社

未来博雲湧く如し赤蜻蛉
蓮沼 希世
少女座す木椅子の辺り薄紅葉
安部 吾舟
とびついて来る秋晴のみのこづ
ち 荒堀 けい
地秤のめもりはね上げきのこ壳
木村 重子
ひっそりと山河はありぬ昼の月
佐藤テツ子

★金上耕衣吟社

爽やかに孫と二人の留守居かな
本田 無志
わが町のシンボルマーク菊花展
小林 惣治
蔵の町新酒の香り風にのり
荒明 香苑
初拾せ娘年ごろ文化の日
二瓶 彩雨
亡夫思ふ月と語りて新酒酌む
石田 幸風

★云津つくし吟社

磬梯を古き名画に枯芒
鈴木芳もと
天高く晴れて婚礼祝いの辞
村山 萌千
赤とんぼ遠目に白き観世音
平野布沙女
玉子酒つれ添うて来し半生記
遠藤 恒乃
この頃は野菊さかりや万歩計
遠藤 淳子

★あすなる吟社

建舞の槌の合間や稲光り
佐野 浄信
樽田や伴走の父息切らし
渡部 洋子
S Lの汽笛に総立つそば刈女
五十嵐末子
縋りつく孫のもみじ手稲光り
小畑トヨ子
飯豊山崇め蕎麦刈る里暮し
赤城すじい

★つるめま吟社

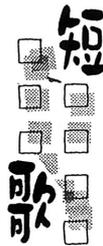
村あげて四方に響かすコンバイ
高畑みさえ
肩に来て人懐かしや赤蜻蛉
伊藤 豊
吊橋は定員二人秋の蝶
村越 季実

★つぐいす吟社

一休みしてはリハビリ秋の風
高久 信玄
呼ばれつつ特売秋刀魚の列に入
る 伊藤イチ子
愛の羽根もうすぐ母となる胸に
大庭 七重
活けられしおいらん菊や奥座敷
玉川 玉女
秋晴れの匂ひも畳む割烹着
石綿 麻里
秋霖や出で湯に癒す傷の跡
唐司 秀香
名月やひそかに祈る己が幸
玉川 文歌

★坂下歩道短歌云

朝霧に紛れてわたる白鳥の
声のみ残し遠ざかりゆく
横田マサキ
すがたみ見の前に佇ちたる我が
姿ありし日の母の晩年に似る
猪俣 竹子
ひすがらの雨は日暮を早めたり
街の灯見つつ帰りを急ぐ
佐藤 文字



卓 食 せ あ わ し

錦糸卵とワカメのごま酢あえ

材 料 (5人分)	作 り 方
卵 2個	①卵は塩と砂糖を加え薄く大きく焼いて、長さ3cmの千切りにし、錦糸卵を作る。
塩 2つかみ	②コンニャクは、短冊切りにして、ゆで、水気をきっておく。
砂糖 小さじ1	③油揚げも熱湯でゆで、千切りにする。
コンニャク 半丁	④ワカメは、もどして2cmに切る。
油揚げ 2枚	⑤きゅうりは、塩をまぶして手でこすり、小口から薄切りにし、塩少々をふってしんなりさせる。ショウガは、千切りにして水にさらす。
きゅうり 120g	⑥ごま酢は、白ごまを焦がさぬように煎ってよくすりつぶし、酢、砂糖、塩、しょうゆの順に混ぜ合わせる。
塩 少々	⑦錦糸卵以外の材料を合わせ、酢をふって、全体によく混ぜさっと絞る、錦糸卵を加えて全部をあえて盛り付ける。
ショウガ 1かけ	
酢 大さじ1	
ごま酢	
白ごま 大さじ4	
酢 大さじ2	
砂糖 大さじ2	
塩 小さじ1	
しょうゆ 小さじ2	



メロンの会
山口トキ子さん
(窪)

(1人分)

エネルギー量 161kcal
塩分 0.75g

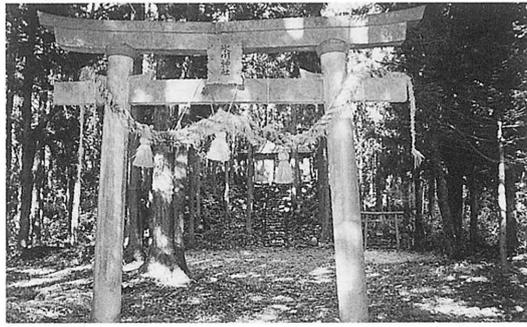
●ワンポイントアドバイス●
水っぽくならないように、材料を酢洗いすることが大切です。

地名さんぽ

32

会津坂下町文化財調査委員長

古川 利意



「氷川神社」

「杉山」

東松地区に杉山の集落があります。わが坂下町に杉、西会津町には小杉山、杉山、会津高田町に杉原、杉屋など、杉の付く地名はかなりいっぱいあります。西会津町の杉山は、応徳年間（一〇八四〜八七）に紀州熊野から杉を移植したのに因むといわれています。わが杉山は、「昔杉山があつて東松峠に続き、老杉が多くあつたが、一日で山が崩れ林木の倒れた後に田圃を開いた」〔新編会津風土記〕といいま

す。現に明治時代の中頃、弁天沼から多量の埋木が引き上げられました。弁天沼とは大沼のことで、ここには浮島があつて島の上には弁天様が祭られていました。この浮島は風のままに西と東にと動いていました。さて、一日で山が崩れて材木が埋まってしまったといいますが、その証拠はないでしょうか。杉山付近の航空写真を見ると西の東松峠山系と、東の秋葉山系とが、それぞれ同じ形になっています。もとは同じ山系だったものが大地滑りによって、いまのような姿になったとも考えられます。杉山付近から天屋本名にかけては、今でも地滑りが続いています。基盤整備事業によって今のような水田になる前は、杉山の西北は、岡あり、湿

地あり、底無しので地漕ありで、いかにも地滑りの跡らしい場所でした。中には胸までも浸かるようなヒドロ田もありました。基盤整備事業は、湿地も岡もすべて平らな美田と化し、畑には杉山特産の林檎がたわわに実っています。

杉山はゴマとゴボウは作ってならないムラでした。鎮守のお天王さま（オテンノンサマ）がゴボウの葉に滑って、ゴマの茎で目を突いたからなそうです。お天王さまは、今では氷川神社になっていますが、本来は、午頭天王・スサノオノミコトを祭る神社で、キュウリをもってお参りすると流行病から守ってくださいと神様でした。

●寒い日が続いております。冬がすぐそこまで来ているようです。雪囲いなどの冬支度は、もうお済みでしょうか。
●こう寒いと、コタツが恋しくなります。一家団らんの場合として重宝するコタツ。普段あまり話をしない私にとって、コタツは絶好の機会を与えてくれます。外は寒くても、せめて家庭内は暖かくしたいものです。
●洗濯物が乾きにくい時期に伴い、火災の発生件数が多くなる季節でもあります。ストーブの周りで乾かす機会が増えるかと思いますが、くれぐれも火の取扱には十分注意され、火災を起こさないよう注意しましょう。

編集後記

戸籍の窓口

(10月届出分)

お誕生おめでとう

牛	沢	渡	部	良輔	(良朝)
東	原	大	竹	リョウケン	(勝)
茶	屋	後	藤	リョウケン	(正人)
金	沢	薄		リョウケン	(文克)
柳	町	大野	木	リョウケン	(勇次郎)
村	田	藤	田	リョウケン	(真吾)
大	江	加	藤	リョウケン	(一也)
新	町	長	谷	リョウケン	(裕一)
塔	寺	佐	藤	リョウケン	(和久)

ごめい福をお祈りします

橋	本	坂	内	四	郎	(80歳)
古	下	渡	部	四	次	(74歳)
御	田	五	嵐	ユキ	子	(78歳)
桜	町	小	林	ツギ	子	(85歳)
気	宮	佐	藤	民	雄	(89歳)
大	江	加	藤	勇	喜	(69歳)
舟	渡	渡	辺	ハツ	エ	(87歳)
履	形	名	倉	宣	子	(74歳)
八	沢	平	田	憲	蔵	(83歳)
立	川	鈴	木	昭	成	(72歳)
平	井	小	林	茂	浩	(68歳)
上	津	猪	俣	ヨ	シ	(91歳)
塔	寺	弓	田	文	昭	(92歳)
大	上	齋	藤	利	榮	(73歳)
気	宮	長	谷	ミ	ツ	(92歳)
朝	立	氏	ノ	シ	ブ	(79歳)
新	町	山	ノ	シ	ブ	(88歳)
小	原	樋	口	シ	カ	(82歳)
束	原	稲	垣	シ	カ	(82歳)
塔	寺	五	十	岩	雄	(84歳)

<敬称略>

町の人口と世帯

(11月1日現在)

人	口	19,306人	(-10)
男	9,333人	(-6)	
女	9,973人	(-4)	
世帯数	5,514戸	(-3)	